

普及活動情勢報告（平成２８年１月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

ミシマサイコ栽培への関心が高まりました ～いの町吾北地区ミシマサイコ掘り取り試験実施～



ミシマサイコの根を掘り取り中

農業改良普及課は、いの町吾北地区において、ミシマサイコの試験栽培に取り組んでいます。１月１８日、地元農家と関係機関で、生薬の原料である根を収穫し、洗浄、調整を行いました。

収穫に先立ち、関係者に呼びかけ（農）ヒューマンライフ土佐で収穫・調整方法や、作業における留意点を学び、共有しました。

試験栽培を行う中、試験地の集落においてはミシマサイコの栽培に関心が高まり、平成２８年度には集落営農組織で栽培に取り組むことになりました。

引き続き、農業改良普及課は、ミシマサイコの定着と経営発展に向けた支援を実施します。

炭酸ガス施用の効果は？

～ＪＡとさし・ＪＡコスモスキュウリ部会現地検討会～



効果を説明する実証農家

ＪＡとさしキュウリ部会・ＪＡコスモスキュウリ部会は１月１９日に種苗会社との現地検討会を行いました。

今回はいの町の炭酸ガス施用実証ほも会場の一つとし、実証ほで得られたデータを農業改良普及課が報告しました。実証農家からは「施用区は果実の肥大が良いと思う。」という声が聞かれ、参加者は生育状況を確認していました。

農業改良普及課では、この実証ほで得られたデータを活用し、炭酸ガス施用技術を普及するとともに、施用機器導入農家に対しては施用方法、栽培管理等の確認を行い、増収につながるよう指導していきます。

ＪＡとさし胡瓜部会の提案型担い手確保対策

～土佐市でキュウリをつくりませんか～



就農相談

ＪＡとさし胡瓜部会では、提案型担い手確保対策として、土佐市担い手育成総合支援協議会とともに昨年度から活動を行っています。

研修生募集として、先月に続き１月２３日（大阪会場）の新・農業人フェアに農業改良普及課から参加しました。就農相談は７件あり、研修から就農までの流れを説明した結果、関心を示した方もいました。

産地の意向と、就農希望者の思いの一致に難しさはありますが、引き続き、農業改良普及課では、キュウリ産地継続のために、この取り組みを支援していきます。

集落営農の法人と地域連携について、現地の事例に学ぶ
～集落営農塾の先進事例調査実施～



地域の状況を聞き取る参加者

1月24日、農業改良普及課は、いの町集落営農塾の一環として先進事例研修を行いました(関係機関含む参加者27名)。

集落営農塾では、既存組織のステップアップと、法人化の2コースを設けています。今回、四万十町「(株)サンビレッジ四万十」、四万十市「用井・橘営農組合」において、現地の法人化の状況や地域間連携について学びました。参加者からは、農事組合法人と株式会社、連携の状況などへの質問があり、有意義な研修となりました。

農業改良普及課は、関係機関と連携を取りながら、引き続き集落営農塾を行い、先進事例を参考に、集落営農の活動を支援していきます。